講義名	社会学基礎		授業形態	その他					
	開講期・曜日・時限 後期 火曜日 3 時限		資料に組織表では	要に応じて、Ryuka Portalで配布する。参考文献も講義中に道 、理解を深めるため、映像資料やウェブ上のサイトなども利用	恒指示する。 引する。				
担当教員	佐藤 彰宣								
		単位数 2 履修開始年次 1年生 デンバー	リング・コ -ド SOC140						
主題と概要				授業計画					
社会学は、世の中に起こるあらゆる現象について、科学的に調べる学問である。科学的というのは、いつ誰が調べても同じ結果となるパターンを見つけ、そこから原因を説明し、結果を予測する、ということを意識する。社会学は、社会で生じている現象に注目して、その原因や問題解決の方法を探る。この講義では、現代社会を解き明かすために必要な道具(社会学理論の基礎)を学ぶこと、実際に道具を使って社会を読券保にとき目的とする。									
つく在雲を読み無くことを目的と9 4。					1 イントロダウション:社会学とは何か 予覧内容:指数学のおらいを調査えるために、シラバス・教科書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる(120分) 復覧内容:社会学の理念や方法について授業資料および教科書等を用いて、ミニレポート課題に取り組む(120分) 2 148章、の社会学				
				予習 復習	答:前回授業資料および教科書等を用いて、関心のある項目を 容:格差について授業資料および教科書等を用いて、ミニレホ	: ノートにまとめる(120分) ペート課題に取り組む(120分)			
				3 社会 予習所 復習の	『で生きる「私」 容:前回授業資料および教科書等を用いて、関心のある項目を 容:自己音識について授業資料および教科書等を用いて、ミニ	・ノートにまとめる(120分) ・レポート課題に取り組む(120分)			
				4 逸朋	行動と社会問題 容:前回授業資料および教科書等を用いて、関心のある項目を 第一項機関を対象を用いて、関心のある項目を	ノートにまとめる(120分)			
				5 性6	谷:巡航について校業員料のよび教科書寺を用いて、ミーレが 多様なあり方を考える 容:前回授業資料および教科書等を用いて、関心のある項目を	マート課題に取り組む (120分) ジノートにまとめる (120分)			
					(福岡内容: 社会学の想念や方法について開業資料および教料書等を用いて、ミニレボト「課題に取り組む(120分) 「福岡内容: 社会学の想念や方法について開業資料および教料書等を用いて、医した。 「福岡内容: 「福屋に取り担む(120分) 「福岡内容: 「福屋に取り担当を開発して、「東京の表現となった。」 「福岡内容: 「福屋に取り担当を開発して、「東京の表現となった。」 「福岡内容: 「福屋に取り担当を開発して、「東京の表現となった。」 「福岡内容: 「福岡投資資料および教料書等を用いて、国心のある項目を ノートにまとめる(120分) 「福岡内容: 「福岡投資資料および教料書等を用いて、関心のある項目を ノートにまとめる(120分) 「福岡内容: 「遠間について同業資料および教料書等を用いて、国心のある項目を ノートにまとめる(120分) 「福岡内容: 「遠間について同業資料および教料書等を用いて、国心のある項目を ノートにまとめる(120分) 「福岡内容: 「本京の表現とない、「東京の表現をない、「東京の表現とない、「東京の表現とない、「東京の表現をない、「東				
到達目標					復居内容・映像分析について供業資料および教育書等を用いて、ミニルが一ト課題に取り組む(120分) 7 - 『現実を生き点』たのか社会:				
・社会学の基礎的な考え方を理解できる。 ・社会学の視点で社会を眺める基礎的な構えが身に付く ・現業社会のさまざまなテーマに駆倒み、社会の仕組みや働きを学びながら、より良い社会のあり方について考えることができるようになる									
TAXABLE OF THE PROPERTY OF THE					復居内容・原像が作について伊業資料および教料書等を用いて、ミニレボート課題に取り組む(120分) 「現実を注きる」ための社会 「苦問内容・前回授業業料および教料書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる(120分) (福別内容・産業構造にして民業業科なよび教料書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる(120分) 「大学の業業科などの大学の主義を担いて、関心のある項目をノートにまとめる(120分) 「おいて、アンドン・アンドン・アンドン・アンドン・アンドン・アンドン・アンドン・アンドン				
				予習 後習 復習	炭子は教育ととつ回さ自つのか 客:前回授業資料および教科書等を用いて、関心のある項目を 容:教育について授業資料および教科書等を用いて、ミニレホ	・ノートにまとめる(120分) ペート課題に取り組む(120分)			
				10 映作	資料を通して読み解く「文化資本」 容:前回授業資料および教科書等を用いて、関心のある項目を 窓・映像公析について郷業資料をよび教科書等を用いて、ミニ	・ノートにまとめる(120分)			
					複数内容: 新貨について授業資料おより教料書巻を用いて、ミニレホート課題に取り施む(120分) 10 映像資料を通して記券はく 文化資本 (文化資本 120分) ・				
提出課題 ・毎回講義を受講した後、LUS(学習管理システム)やRYUKA Portal等でワークシートやコメント等を提出する。					家と社会運動 容:前回授業資料および教科書等を用いて、関心のある項目を 容:国家と社会運動について授業資料および教科書等を用いて とめ	アノートによこのも(120分) 「、ミニレポート課題に取り組む(120分))		
				14 まとめ					
				予習	答:これまでの授業資料および教科書等を用いて、授業内試験	能に向けて関心のある項目をノートにまる	とめる (240分)		
課題(レポー l	トや小テスト等)に対するフィードバックの方法			四光11/1	§(アクティブ・ラーニング)				
各回の課題での:	コメント・質問に対し、応答する。			1文乘7/2%	x (イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ま	せ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)	
					ウ:ディスカッション、ディベート		エ:グループワーク		
				l	オ:ブレゼンテーション		カ:実習、フィールドワーク		
					キ:その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該	当しない場合)			
					卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
					t組みや働き、日常生活と文化、人々の心理など、現実社会の根	様々なテーマに取り組み、よりよい人間	社会を創造することができる能力を身につける。		
評価の基準	クやコメント等提出 (30点)			社会構	もや社会制度といった社会の仕組みや働き、地域社会における 人	人びとの生活や文化などについて専門的	な知識を有し、さまざまなことがらの社会における	5役割や意義を理解し、考えることができるようになる	
・ 損業内のワーク・ 授業内試験(7)	クやコメント寺提出(30点) 70点)								
	ての注意・助言他			双方向护	受業の実施及びICTの活用に関する記述				
LIIS (学習管理システム) を利用するので、初回授業の指示に従って速やかに準備を整えること。 毎週講覧的には吹は感ですること。 教料書を使用するので、必ず準備すること。				LMS(学	習管理システム) を利用するので、大学のメールアドレスをあ	らかじめ確認しておき、初回授業の指示	に従って速やかに準備を整えること。		
教科書を使用するので、必ず準備すること。 下段にある「双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述」をよく読んでおくこと。									
				宝務経順	・				
				2-373mI					
ALVI =									
改科書 .大学生のための	社会学入門 日本学術会議参照基準対応 .	篠原清夫・栗田真樹編 晃洋書房	2200 9784771027176						
		+	1	供表					
参考図書				備考					
				i l					
]					
				1 l					